



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月7日

上場会社名 東プレ株式会社
 コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	162,825	8.7	11,460	30.4	12,113	31.3	8,311	34.7
2019年3月期第3四半期	149,765	8.1	16,469	6.6	17,631	14.0	12,720	4.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 7,820百万円 (2.7%) 2019年3月期第3四半期 8,039百万円 (50.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	158.36	
2019年3月期第3四半期	242.38	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	276,786	153,108	54.3	2,863.12
2019年3月期	239,172	159,269	62.4	2,845.25

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 150,263百万円 2019年3月期 149,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	6.8	15,500	22.3	15,000	30.9	10,500	31.7	200.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 3社 (社名) 三池工業株式会社、 広州三池汽车配件有限公司、 PT.Topre Indonesia Autoparts、 除外-社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	54,021,824 株	2019年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,539,276 株	2019年3月期	1,538,788 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	52,482,889 株	2019年3月期3Q	52,481,683 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載していません。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
(企業結合等関係)	11
(重要な後発事象)	12
3. その他	12
(継続企業の前提に関する重要事象等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、自動車用プレス部品の増収により、売上高1,628億2千5百万円、前年同期比130億6千万円の増収(8.7%増)となりました。また、自動車用プレス部品の売上は増加したものの、主に北米地区における売上原価の増加などにより、営業利益114億6千万円、前年同期比50億8百万円の減益(30.4%減)となりました。経常利益は、営業利益の減益や為替の影響などにより、121億1千3百万円、前年同期比55億1千8百万円の減益(31.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、83億1千1百万円、前年同期比44億9百万円の減益(34.7%減)となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、2019年5月に子会社化した三池工業株式会社の新規連結に伴う売上増加や、「Topre Autoparts Mexico, S.A. de C.V.」、「東普雷(佛山)汽車部件有限公司」での物量増と新車種の量産などにより、プレス関連製品事業全体での売上高は1,216億1千9百万円、前年同期比149億2千6百万円の増収(14.0%増)となりました。しかしながら、新車種立上げや金型製作の高負荷などによる売上原価の増加などにより、セグメント利益(営業利益)は、63億6千7百万円、前年同期比49億9千9百万円の減益(44.0%減)となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、宅配向けの軽自動車は堅調に推移したものの、小型車を中心に受注・生産は前年同期を下回りました。これにより、定温物流関連事業全体での売上高は、341億9千万円、前年同期比13億9千6百万円の減収(3.9%減)となりましたが、生産効率の向上などにより、セグメント利益(営業利益)は、43億4千万円、前年同期比1億8千1百万円の増益(4.4%増)となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、住宅用換気システムの販売は好調に推移しましたが、前年度好調だったビル空調システムの売上減少などにより、全体的な売上は前年同期を下回りました。また、電子機器部門におきましては、カスタムキーボードやキーボード「REALFORCE」の売上台数は堅調に推移しましたが、タッチパネルなどの企業向け製品の売上は前年同期を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、70億1千4百万円、前年同期比4億6千9百万円の減収(6.3%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は、7億5千2百万円、前年同期比1億9千万円の減益(20.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に、受取手形及び売掛金や有価証券が減少したものの、現金及び預金の増加などにより、1,143億3千8百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資による有形固定資産の増加により、1,624億4千7百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ376億1千3百万円増加の2,767億8千6百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に未払法人税等が減少したものの、支払手形及び買掛金や1年内返済予定の長期借入金が増加したことなどにより、802億5千9百万円となりました。

固定負債では、社債や長期借入金の増加などにより、434億1千8百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ437億7千4百万円増加の1,236億7千7百万円となりました。

(純資産の部)

主に、連結子会社であるトプレック株式会社の株式取得による非支配株主持分の減少および資本剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ61億6千万円減少の1,531億8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想につきましては、2019年11月14日公表の予想値から変更はありません。

なお、中国を中心とした新型コロナウイルスの流行による業績への影響に関しては、現在精査中であり、業績予想の修正が必要となった場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,825	30,673
受取手形及び売掛金	47,052	45,679
有価証券	2,548	730
たな卸資産	19,629	29,285
その他	6,697	8,052
貸倒引当金	△46	△82
流動資産合計	101,707	114,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,434	40,010
機械装置及び運搬具(純額)	31,641	40,207
建設仮勘定	22,989	32,513
その他(純額)	24,201	23,718
有形固定資産合計	112,266	136,449
無形固定資産	1,619	3,245
投資その他の資産		
投資有価証券	21,775	20,204
その他	1,812	2,557
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	23,578	22,752
固定資産合計	137,465	162,447
資産合計	239,172	276,786

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,930	47,032
短期借入金	3,242	7,198
1年内返済予定の長期借入金	2,220	6,948
未払法人税等	3,609	1,207
賞与引当金	1,895	828
役員賞与引当金	77	49
製品保証引当金	139	141
その他	13,627	16,852
流動負債合計	67,742	80,259
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	6,273	17,176
長期未払金	88	19
繰延税金負債	3,703	3,914
P C B 処理引当金	104	98
役員株式給付引当金	62	71
役員退職慰労引当金	—	133
退職給付に係る負債	523	107
その他	1,404	1,897
固定負債合計	12,160	43,418
負債合計	79,903	123,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	8,251	4,446
利益剰余金	130,688	135,844
自己株式	△1,110	△1,111
株主資本合計	143,439	144,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,295	4,244
為替換算調整勘定	2,148	1,714
退職給付に係る調整累計額	△555	△485
その他の包括利益累計額合計	5,888	5,474
非支配株主持分	9,941	2,844
純資産合計	159,269	153,108
負債純資産合計	239,172	276,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	149,765	162,825
売上原価	123,619	139,983
売上総利益	26,145	22,841
販売費及び一般管理費	9,676	11,380
営業利益	16,469	11,460
営業外収益		
受取利息	201	200
受取配当金	416	432
固定資産賃貸料	81	86
為替差益	122	—
助成金収入	121	109
持分法による投資利益	295	261
その他	195	297
営業外収益合計	1,434	1,387
営業外費用		
支払利息	118	238
固定資産賃貸費用	18	15
為替差損	—	256
災害による損失	40	—
貸倒引当金繰入額	48	28
外国源泉税	14	14
社債発行費	—	92
その他	33	90
営業外費用合計	272	734
経常利益	17,631	12,113
特別利益		
固定資産売却益	162	44
投資有価証券売却益	1,993	266
負ののれん発生益	—	254
その他	—	20
特別利益合計	2,155	585
特別損失		
固定資産除却損	63	180
減損損失	147	—
投資有価証券売却損	23	117
ゴルフ会員権評価損	19	—
その他	—	36
特別損失合計	254	333
税金等調整前四半期純利益	19,533	12,365
法人税、住民税及び事業税	5,201	4,542
法人税等調整額	727	△425
法人税等合計	5,928	4,116
四半期純利益	13,604	8,249
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	884	△62
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,720	8,311

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	13,604	8,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,120	△91
為替換算調整勘定	△2,540	△280
退職給付に係る調整額	181	68
持分法適用会社に対する持分相当額	△86	△124
その他の包括利益合計	△5,565	△428
四半期包括利益	8,039	7,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,184	7,899
非支配株主に係る四半期包括利益	854	△78

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年7月31日付で、当社の子会社であるトプレック株式会社の株式を追加取得しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が3,805百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,446百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、PT. Topre Indonesia Autoparts を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

また、三池工業株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。これに伴い同社の子会社である株式会社栃木三池、広州三池汽车配件有限公司、深圳三池汽车配件有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、三池工業株式会社の株式取得により、同社の関連会社である AAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltd. を持分法の適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	106,692	35,587	142,280	7,484	149,765	—	149,765
セグメント間の内部 売上高又は振替高	125	11	137	391	528	△528	—
計	106,818	35,599	142,417	7,876	150,293	△528	149,765
セグメント利益	11,367	4,158	15,526	943	16,469	—	16,469

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	121,619	34,190	155,809	7,014	162,825	—	162,825
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120	13	133	273	406	△406	—
計	121,739	34,204	155,942	7,287	163,232	△406	162,825
セグメント利益	6,367	4,340	10,707	752	11,460	—	11,460

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、三池工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益254百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、セグメント利益には含めておりません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(子会社株式の追加取得)

当社は、2019年7月12日開催の取締役会において、連結子会社であるトプレック株式会社の株式を追加取得し、当社グループ内の持分比率を100%に引き上げることを決議いたしました。その後、2019年7月31日付で株式取得が完了したことにより、トプレック株式会社は当社の完全子会社となりました。

当該株式取得の概要は以下のとおりであります。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	トプレック株式会社
事業の内容	冷凍・冷蔵車関連製品の販売

②企業結合日

2019年7月31日

③企業結合の法的形式

株式の取得

④結合後企業の名称

変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社はトプレック株式会社の株式の25%を追加取得し、持分比率は75%となりました。また、トプレック株式会社は同社株式の25%を自己株式として新規取得することで、当社グループ内の持分比率は100%となりました。

当該追加取得によって、当社グループ内における、より一層の連携強化や意思決定の迅速化を図ることが可能になると考えております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	11,269百万円
取得原価		11,269百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 17百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)

該当事項はありません。